

『淫語の女神サマ 〜ヒトとカミとのケダモノセックス〜』

声の出演：美咲さゆり

シナリオ：うた

制作：にっち音声工房

・本編シナリオ

CHAPTER 1 「戦いが終わって」

よくぞ魔王を滅ぼしてくれました。勇者よ。
これで世界には平穏が訪れることでしょう。
さすがは私の見込んだ男。
あなたなら必ず成し遂げると信じていました。

ならば、私も約束を果たさねばなりませんね。
さあ。あなたの願いを一つ、おっしゃってください。
どんなことでもかまいません。
この世の平和とはかりにかけられるものなら、なんでも。

なっ…。
どんなことでもと申し上げましたが、それはなんとも大それたことを…。
…いいえ。よいのですよ。（微笑みを含ませる感じで）
少々、驚きましたが、その願い、確かに聞き届けました。
私でよろしければ、喜んで、あなたのお子を孕みましょう。

ふふふ。ご自分でおっしゃったのに、なんてお顔。
あなたがたの神話にもあるように、かつては人と神とがもっと密接に関わっていた時代もありました。
大昔には、私だって戯れに人間に恋をしたことくらい…。
もともと、人間とは神に似せてつくられた存在。
人の快楽とは、神々の快楽でもあるのです。
それでは私も、ひさかたぶりに肉の官能を味わうとしましょう。

ただし、今、あなたが見ている私の姿、聴いている声は、啓示を与えるために映し出された幻のようなもの。
実際に地上に降りてあなたと事に及ぶためには、人間と同じ肉体を形作らねばなりません。
それには人の強い想いと、依代（よりしろ）が必要なのです。

…そう、ですね。

それでは、あなたにはこれからここで、精を吐き出してもらいましょう。

そうです。自分で自分を慰めて、私の目の前で、お射精、するのです。

あなたの強い欲望と生命の証を媒介とし、私は肉の体を得る。

本当に私のことを抱きたいのなら、すべてをさらけ出して、その想いはっきりと示すのです。

CHAPTER 2 「女神サマに自慰鑑賞してもらう」

ああ。長い戦いで、体中、そんなに傷ついてしまわれて…。

私がお癒しとなるのなら、存分に求めてくださってかまいません。

私とどんな淫らな夜を過ごすのか、今はそれだけを想像して自らを慰めてください。

ああ、人間の男の体。鍛えられた生身の肉体のなんと美しいこと。

私も、その逞しい体に組み敷かれて、ただの女として犯されてしまうのですね。

男のものを容赦なく突き込まれて、はしたなく声をあげてしまうのですね。

…うふふ。そのさまを想像して、だんだんと男性器が上を向いてきましたよ。

ああ、救世主に似合いの、立派なモノ。

さあ、さっそくしごいてみせてください。

もっと硬くして、シコシコ、シコシコ、って男の性欲処理、私に見せつけて。

女神の痴態を妄想して、オチンチン、しごきまくるのです。

あはあ、女神のいやらしい言葉で興奮したのですか？

オ・チ・ン・チ・ン、すっかり勃起、してしまいましたよ。

ああ、素敵です。血管を浮き立たせてパンパンに膨れ上がって。

私が欲しくてそんなにしてくださって、大変うれしく思います。

うふふ。私は、豊穣と生命を司る女神

世界の命運などよりも、本来はオスとメスの営みが専門の、言わば、セックスの女神なのです。

こうやって、スケベな言葉で人間の発情を誘うなど造作も無いこと。

もへつといやらしく、あなたのオナニー、お手伝いいたします。

ほら、手を止めないで。もっと激しくしてみせて。

ああ、すごい。世界を救った勇者が、猿みたいにオチンチンをしごいている。

セックス専門のスケベな女神様にオナニー姿を見られて、興奮しているのですね。

ビクビク脈打つお肉棒が切なそうの先走りの涙を流していますよ。

ああ、太い。素敵な、オ・チ・ン・ポお。

あなたの熱い想いが肉棒から伝わってきます。

私を、女神を抱きたいと、神聖な肉体をめちゃくちゃに汚してしまいたいと、カウパーでヌチョヌチョになった勃起オチンポから、どうしようもなく伝わってきます。

ん、ああ。あなたの劣情が、私にも影響をおよぼしてきたようです。

見てください。

私のまとった純白の衣が、だんだんと輪郭を失い、消えていこうとしているでしょう？

あなたの欲望につられて、私も発情、しているのです。

人間のオスを求めて、その肌を露わにしようとしているのです。

うふふ。女神の裸、あなたも見たいのでしょうか？

ならば、もっと淫らな姿をさらして、恥ずかしい声を聞かせてください。

私をも〜っと、興奮、させてください。

そう、そうですよ。

いやらしく腰を突き出して、もっとシコシコしてください。

ほら、シコシコ、シコシコ。シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

オチンチン。チンポ。オチンポ。

勇者のデカマラ、カリ高のエロチンポお。

女神のはしたない淫語で、チンチンズリズリ、オナってください。

あっはあ、シコシコ、センズリ、センズリい。

もっとセンズリぶっこいてください。

ほら、私も、もう、薄絹一枚まとっただけの破廉恥な格好です。

女神なのに、私、人間の男の前で娼婦のように肌をさらして、とても興奮してしまいます。

乳首も、もうこんなに勃起してしまっって…。

薄い布越しにピンと立っているのがわかるでしょう？

これも実体化が進んでいる証拠。

私、人間のメスに、なろうとしているのです。

ああ、もっと願ってください。

女神の裸が見たい、その体を犯したい、オスの猛りで私のメス穴をグチョグチョにしたいと。

私のオマンコの奥でたっぷり射精して、私を孕ませたいと。

もっともっと淫らにいやらしく、力強くチンポをぶっこくのです。

ああ、あはあ。すごい、すごく熱い。

あなたの欲望が私に流れ込んでくる。

あはあ、興奮します。

ガチガチチンポでセンズリオナニー、すっごく興奮します。

ああん、最後の一枚も消えて、私、一糸まとわぬ姿になってしまいました。

んあ、あなたのお熱を間近で感じます。もう少しで、あなたと交わることができるのですね。

あとは依代（よりしろ）を、勇者の生命の素をほとばしらせるだけ。
私も、もっと淫らに体をくねらせて、オチンポ気持ちよくなるお手伝いをしますから。
だから、センズリこいて。もっとオチンポしてください。
亀頭も竿も、ズリズリ、しごきまくって。ああ、シコってえ、シコってえ。

ああ、あっはあん。そんなにビンビンのチンポを見せつけられたら、ああ、こちらもどんどん発情していきます。
私がもし人間の女だったら、今にも股を広げながら、「私のグチョ濡れマンコにオチンポ突っ込んでえ」なんてオネダリしているところですよ。
んああ、うずく。私のオンナがうずくう。
早くオトコと交わりたい。チンポとマンコで合体したい。
ただのメスになって、神も人も関係なく、ただひたすらに快楽を貪りたい。
だから、早く出してください。ドロドロの濃厚な子種、私のために発射してください。
あなたの愛とザーメンで、私に肉の体を授けてえ。

あっはあ、天を突くほどのフル勃起い。
なんといやらしく、そして、なんと美しいのでしょう。
人間のオスの、いやらしいお肉。熱くて硬い、勃起チンポお。
ああ、もう出そうなのですか？ 限界なのですか？
うふふ。いいですよ。
私が汁数えるので、数え終わると同時に、チンポの先からエッチなお汁、吐き出してくださいね。
それでは、行きますよ。

１０！
ほら、もっとオチンチン、シコって。
オチンポシコシコ、センズリ、センズリい。
センズリチンポ、ぶっこきまくってえ！

９！
あっはあ、立派なあなたのオチンチン、早く味わいたい。
神聖な女神の穴という穴で、しゃぶり尽くしてみたいのです。
だから、もっと。もっと激しくオナってえ！

８！
ああ、チンポお。
オチンポ、オチンポが欲しい。
オチンポ、チンポ、カリ高デカチンポお！
あはあ、チンポチンポチンポチンポチンポチンポチンポお！

７！
ああ、興奮します。

だらだら垂れ流している先汁の、いやらしい匂い。
本当は許されない、神との情事を夢見て猛る、オスの匂い！
ああ、もっと！ 私に、もっとオトコの匂い、嗅がせてえ！

6！
ほら、想像してください。
私のオマンコ。女神の発情メスマンコ。
オチンポ突き入れたらどんなに気持ち良いのか想像しながら、オチンポこいてください。
女神の神聖な場所の、そのピラピラはどんなカタチか？ 中のヒダヒダの感触は？
そのあたたかさを想像しながら、オナニーぶっこいてくださいい！

5！
欲しいのでしょうか？
私の、女神様のオマンコお。
ドロドロのグチュグチュのスケベな肉穴。
ん、んっはあ、私もたまらなくなってきましたう！

4！
ああ、早くチンポとマンコで気持ちよくなりましょう。
チンポとマンコで、神と人間の交尾。
んはあ、セックス、セックスしたい。勇者とオマンコしたいい！
私だって、たっぷり精液注ぎ込んで孕ませて欲しいのです！

3！
ああ、もう、限界まで張り詰めていますよ。
オチンチン、いつ爆発してもおかしくありませんね。
ほらほら、もっとオチンポセンズリい！
チンチンもげるくらいのスピードで手を動かしてみせてください！
ズリズリヌチュヌチュしごきまくって、早くドっピュンしてえ！

2！
ん、んはあ。
チンポ、オチンポ！ チンポチンポチンポおおお！
卑猥に膨れ上がったデカマラが、もうすぐ臭いお汁を吐き出すのですねえ！
キンタマの中が空っぽになるくらい、たつくさん、お射精してくださいい！

1！
ほら、出して！ 発射してください！
ああ、オチンポイク！ ザーメン出る！

ドビュドビュ、チンポ汁射精！
白いのいっぱい、私にくださいっ！　タマタマの中身、全部、私にください！
ん、んん、あっはあああん！
チンポイクチンポイクチンポイクチンポイク！
ザー汁、チンポから発射しますう！
オチンポザーメン、ドビュドビュビュルビュルう！
んんん、んっはあああああん！

（射精）

ああん、あっはあああん。
オチンポ射精、すごい量。
まだまだ出てる。ビュクビュク、チンポの先から白い子種汁、いっぱい吐き出しています。
あ、あはあ。もう少し、もう少しで！
んん、んあああん。
オチンポ汁、ものすごくいやらしい匂いで、私も感じてしまうう。
ああ、溢れる！　私の中から、熱いものがこみあげてきています！
ん、ああ、あはああああ。
これで、ん、この精液を媒介として、私、いま、そちらに…！
んん、んあ。い、イキます！
ん、んあ、んんん、んおっほおおおおおん！

チャプター３　「女神サマと子作りセックス」

ん、ん、あ、あはあ。
はあ、はあ、はあ、はあ。
ん、んふ。うふふふふふ。
ありがとうございます。素敵なオナニーでしたよ。
精も根も尽き果てるほどの大量特濃射精、とっても素敵。
おかげで、生身の、動物の体で、人間界に降り立つことができました。

あらあら。
私、なんだかとってもだらしな身体になってしまいましたね。
あなたの想いで実体を得た今の私は、きっとあなた好みの容姿になっているはず。
こおんなにおっきな乳房や大きなお尻がお望みだったのですか？
まったく、いやらしい勇者様。
熟れきった身体との爛れたセックスばかりを考えながら、みつともなくオナニーなざっていたのですね。

…いいでしょう。ご希望どおりのドスケベなセックスで、私のこと、勇者の子種で孕ませてください。

といっても、そのままでは消耗しすぎて、まともに体も動かさせませんね。

それならば、んん。

少し、お待ちくださいね。ん、んあ。

しばらく私の事、目で犯して我慢なさってください。

ん、んふ。あふ。

どうです？ 豊満な乳房が私の手でこね回されて、いやらしく変形していますよ。

んふう。あ、あは、あふう。

あ、んあ、あっはあ。

乳首も、こうやって指で挟んで。ん、んっふう。

ああ、やっと私も気持ちよくなれる。

あなたのオチンポオナニーを見ながら、私、たかぶりを自分で慰めることもできず、ずっと辛かったのです。

ビンビンにおっ勃った乳首を、こうやってコリコリいじるのを心待ちにしていたのです。

んあ、んっはあ、あっはあ。

んん、なんです？ オマンコも見たいのですか？

女神の聖なる肉ピラとメス穴、その目に焼き付けたいのですか？

うふふ、いいですよ。ご覧になってください。

ほらほら、ほお〜ら。

ドスケベ女神が恥ずかしげもなく、お股をおっぴろげええ！

ん、んはあ。いかがです？ 私の、オ・マ・ン・コお。

つい今しがた形作られたとは思えない、熟れ熟れの卑猥な女性器でしょう？

あら。マンピラも大きくはみ出して、なんとも破廉恥。

愛液を絶え間なく分泌しつづける、グチュグチュの女神マンコ。

ああ、あなたのマニアックな好みのおかげで、私の体、こんなに下品にされたんですね。

ああ、感じる。勇者の視線でマンコ穴の奥まで犯されているのを感じます。

こんなにいやらしいオマンコ、触れただけで気をやってしまうのではないかと少し怖いくらいですよ。

でも。…ん、んんん。んっはあああん！

んああ、マンスジ、指でなぞっただけでこんなに気持ちがいいなんて。

ひさかたぶりのメスの快楽、素敵です。

オマンコ、すっごく気持ちいい。

あっはあ、オマンコお。オマンコオマンコオマンコおおお。

もう私、発情、止められません。ん、んあっはあああ。

ああ、来ました。

オッパイとオマンコいじくって、胸がだんだん張ってきました。

来ます、出ますよ。

オッパイから、ミルク、吹き出してしまいますよおつ。
んっはあああ、あっはああああん。
ピチャピチャ、母乳、胸から溢れてる。
ああ、あっはあん。

これです。勇者よ、これを飲むのです。
生命の女神が生み出す母乳なら、たちどころにその心身の消耗を癒すことができるでしょう。
ほら、乳首を口に含んで、あ、あふ。
ん、んふう。あっふうう。
んああ、赤ん坊みたいにチュウチュウ吸い付いて、オッパイミルク、ごくごく飲み干しています。
ん、んふふ。魔王を破った救世主なのに、そのように子供のように女の乳房に甘えて恥ずかしくないのですか？
あ、あ、ああああん。
勇者のオチンチン、ムクムクと起き上がってきましたよ。
女神のお乳で、オチンポ、すっかり元気い。

ん、んひゃあん。あ、あっはあん。
んもう、急にオマンコいじらないでください。
体力が回復したからといって、ことわりもなく女神の神聖なトコロ、グチュグチュかきまぜないでください。
あ、あ、ああああん。
私のエッチなマンピラ、指でなぞられて、ヌレヌレのグッチョグチョお。
ああ、そうです。
セックスするためだけに実体化したオマンコは、チンポ迎え入れるのを心待ちにして、マン汁垂れ流し続けているのです。
ん、んん、んっはあああん。

ああ、恥ずかしい。指に絡みついた愛液を舐めとらないでください。
女神のマンコ汁味わって、勇者のオチンポギンギンに勃起い。
ポッキンキンのバッキバキです。
もう痛いくらいに反り返っていますよ。
うふふ。私のオマンコ汁は、お乳と同じかそれ以上に精力を回復させるのです。
人間の精子で神々を妊娠させるためには、あなたが考えている以上の、大量の中出し射精が必要ですからね。
どんどん私のエッチなジュースを取り込んで、たくさんのお精子、キンタマに補充しておいてください。
って、んひゃあああん。
言ったそばから、オマンコジュース、直飲みい。
んふ、んは、あっふううう。
舌でペロペロ、マンコ穴、虐められてしまっています。
ん、あ、あ、あっはあああん。

ああん、こんなにされては、私、もう我慢できなくなってしまうです。
オチンポ欲しくて、切なくなってしまうです。

私、神様なのに、人間のオスチンポにときめいて、オマンコの奥がキュンキュンしてしまいますう。
ああ、ください。オチンポください。
女神のトロトロ発情マンコ、ガチガチの勇者チンポで愛してくださいい！

んん、んふ、んちゅ。
チュッ、あふつ、んちゅつ、んふつ、ちゅつ、んん、んちゅう。
んちゅつ、ちゅぶつ、んふつ、んはつ、んちゅ、ちゅちゅつ、んふう、んはあああ。
ん、んふう、んはあ。
ああん。優しい口づけ…。
私のミルクと愛液と、あなたの唾液の味がまざりあって、頭がポーっとしてしまいます。
ああ、早く。早く、私とひとつになりましょう。
ほら、来てください。

んんん、んふう。
あはあ、亀頭をオマンコのピラピラに擦りつけられている。
私のメスの部分が、熱くて遅いオス肉を受け入れようと、ああ、どんどんほぐれていきます。
ん、んああ。いいですよ。来てえ。
その硬くてぶっといの、女神のマンコ穴にハメてくださいい！

んは、あつはあああ。あ、あ、あ、んんん。
ど、どうしました？
ああ、ええ。そうなのです。
見た目はこんなに使い込まれた熟れ熟れのオマンコですが、さきほど実体化したばかりの生娘マンコなのです。
でも、大丈夫ですから、そのお肉棒で遠慮無く、私の処女膜、突き破ってください。
処女マンコ、奥までズンって犯しぬいてえ。
ん、んふう、あつはあああ。
そう、そうです。処女の印を貫通して、ズンズン腰を押し込んでくださいい。
ん、んひい。あ、あ、あつふうううう。
少し痛いですが、それがイイんです。感じるんですう。
んん、んつはあああん。

え？ あ、あ、あ、あはあああああ！
チンポ、ビクビク、射精してる！
処女喪失したばかりなのに、もう中出しされてる！
ん、んつはあ、あつはあああん。
んああ、女神の処女マンが気持よすぎて、オチンポ、暴発してしまったのですね。
んふふふ。それは仕方のないことですよ。
私の中には凝縮された神聖な力が満ちていて、普通の人間がそう耐えられるものではありませんから。

だから、いいですよ。気にせず、どんどん私の中でお出しになって。
たくさん中出しして、私のこと孕ませてくださるのでしょうか？
ほら、オッパイミルク吸って、すぐにオチンチン、硬くしてください。
もっといっぱい突いてください。

ああ、ああ。んふうん。
ああ、すごいです。いくら女神の母乳の力でも、こんなにすぐにギンギンになるなんて。
やはり、勇者は特別です。私にとっても特別なオ・ト・コ。

さあ、そろそろ、その愛しいオスのお肉で私のメス穴、もっと可愛がってください。
ゆっくりでいいですから、私の中もたっぷり味わって。
ん、んふ、あはああ。あ、あ、あ、あああん。
いいです、いいですよ。
私とあなたの魔力を、心と心を混ぜ合わせるように、ゆっくりピストンしてください。
ああ、ああ。
たまにはそう、そうやってグラインドさせて、肉襦にチンポを擦りつけて、あ、ああ、いいです。
んはあ、あつはあ。

わかりますか？ あなたと私がとけあうような感覚が。
神と交わることで、あなたも人を超えた認識を得ようとしているのです。
私の快楽はあなたの快楽。あなたの喜びは私の喜び。
ああ、そうです。その先に本当の絶頂があるのです。
私と一緒にそこへ行きましょう。もっともっと気持ちよくなりましょう。
ああ、もう一度、キスをして。
腰をへこへこ動かしながら、熱いペロチューかましてください。

あ、あふう。ん、んちゅ、ちゅぶ、ちゅば、ちゅちゅう。
んちゅっ、ちゅば、ん、んんん、あふ、んちゅ、ちゅ、ずちゅ、ずちゅちゅう。
んれろお、んちゅ、んふ、ずずっ、んちゅ、んじゅるっ。
んええろ、んれろお、えろお、んええろ。ずちゅ、ちゅ、んちゅうう、んれえろお。
ん、んふ、んぶはあ。ん、あはあ。

ん、んはあああ。
わかりますか？ オチンポの感度が上がっているでしょう？
女神とのセックスで、感覚が極限まで高まっているのです。
ああ、私のカラダも、さっきよりずっと感じて。あ、あ、あつはあああん。
ああん、もっと！ もっと高め合いましょう！
チンポとマンコで、グッチョグッチョ、感じまくりましょおおおう！

あ、あ、あ、あああああ！

んおお、ガッツンガッツン、力強い腰振りい！

勇者の本気チンポ、気持ちイイいいい！

これなら私もすぐにイケます。メスの絶頂、味あわせてくださいいいい！

ん、ん、んっはあ、んおっほおおん。

ああ、イイ！ チンポイイ！ チンポでマンコ突かれて、気持ち、イイっ！

ああ、私、女神なのに。神様なのに、人間のオスのチンポで浅ましくヨガってるう！

ああ、突いて！ もっとオチンポしてください！

んほお、おっほおおん。

んおお、イク！ イキます！ オチンポピストン気持ちよくって、メスマンコ絶頂、しちゃいますっ！

あなたもイって。また勇者の子種、オマンコの奥にドップドップ吐き出してえ！

あ、あ、あ、お、お、おとおおっ！

イクイクイクイク！ イっくううううっ！

ああ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ。

ん、んうう。

あっ、ダメです。抜かないで。

私を孕ませたかったら、抜かずにこのまま、もっと生ハメ中出ししなければ。

ほら、あなたのオチンポ、全然萎える気配がないでしょう？

もう私との魔力の共有がなされているのです。

女神とのセックスとはこういうこと。

私が満足するまで、勇者の精子で種付けされるまで、このまま、セックス漬けになるのです。

だから、もっと私の子宮に臭くて白いお汁、いっぱい飲ませてくださいい。

あはあん。次はケダモノのようにセックスするのですね。

後ろからガンガン私を犯すのですね。

うふふふふ。さあ、来てください。

私と、もっと下品にドエロおく、ケダモノ交尾を楽しみましょう。

ああ、本当の私、見てください。

チンポ狂いの変態女神の、はしたないセックス、ご覧になってえええ！

ん、んおっほお。んっほおおん。

あ、お、お、おとおおん。

そこそこそこそこおっ！

気持ちイイところに、チンポの先、当たるっ！

んん、んっふううっ。

女神のエロマンコ、チンポはなさないように締め付けますよ！

あっは、ビクビクしてる。あなたのいやらしいチンポ肉、またイクのですね！

あ、あ、お、お、んお、三発目のザーメン発射！
チンポイクっ！ オチンポミルク、ピュクピュク、おもしろいいい！

あっはあん。ん、んああ。
まだです。まだ足りません。
私を孕ませるにはもっと大量のチンポ汁が必要なのです。
だから、もっとセックスしてえ！
もっともっと、子作りセックスうううんっ！

んふう！ ん、ん、ん、んふううう！
あ、あ、あ、あ、お、お、お、お。
お、お、お、お、お、お、んおおおうっ！
あおうう、バキバキチンポ、奥まで当たる。
中出しザーメンかき回しながら、私のこと、感じさせてくれてるう！
んっはあ、お、おお、おっほほおお！
また出た！ 四発目！
おおん、おっ、おっ、んおおおん！
んああっ！ 五発目！
んっほおおお。ピストンするたび、ビュービュー射精！ ザーメン連続発射あ！
んぐ、んおおおうっ！ 六発目！
おっほおおおおん！ なな、はつ、めえええっ！
ん、ん、んお、おおう！ ん、んは、んっほおおん！
イグイグイグ！ 生チンポ汁出されるたびに、イっグううううん！
エロマンコでザーメン味わいながら、何度も何度も、オマンコぜっちょうおおおっ！
ん、んほ、んおっほおおおおおん

(時間経過)

おおう、おおう、お、お、お、おっほお。
お、お、お、お、お、お、お、お。
んぐ、あぐ、あ、ああ、お、お、おお、んっほお。
んふ、んひ、んんっひい。あふ、おふ、おっふううう。
ああう、おおう、おおう！
んほ、おほ、オッホお！
ほらほら、まだですよおっほおおおっ！
んおう、お、んおおう！
ひやく、ごかいめの、オチンポ射精いっ！
ん、んぐ、んっは、おっはあああっ！
もう少し、もう少しですう。

もう少しで、ドスケベ女神マンコ、勇者の子種ザーメンで満たされて、孕み、ますよおお！
オオウ、オオウ。オ、オ、オオオウっ！
イグイグイグっ！ ひゃくろっくううっ！ んっはああん！
あゝ、あゝ、あゝ、おゝ、おゝ、おゝ おおん！ ひゃく、な、なああっ！ イつつグううううん！
んひ、あひ、あへえ。アっへえええ！ 女神の妊娠絶頂まで、もう少しいいっ！
あっ、ひい、最後は、んぐ、また正常位で、私のこと抱きしめながら、あはあん、イッてくださいいいいっ！

あ、あ、ああああん。
んは、あっは、んお、んおおう。
んほお、あんなに出したのに、まだこんなに力強いオチンポ腰振りい。
んぐおおう、お、おおう。わ、私のこと、こんなに愛して下さった人間は、あなただけですよ。
好き、好きい。あなたの絶倫チンポ、だあいすぎいいい！
おおう、勇者様あ。勇者の、オチンポ様ああ！
オチンポ様にいただいた大量のザーメンで、私の中、いっぱい。
ドロドロの熱いオチンポ子種で、私の子宮がとろけていますう。
んほお。このまま、私のザーメンタンクに、最後のお射精、チンポ汁、注いでくださいいいいっ！

むぐぐぐ、んっほおおっ！ キタキタキタあっ！
ザー汁でパンパンのお腹の中、愛しい勇者の凶悪チンポでかき混ぜられてるうっ！
んぐ、んっほお。オチンポピストン、はげしいいいっ！
おっほおお！ あなたの想いが、快感が、私の中に流れ込んでくるうっ！
チンポとマンコが溶け合ったみたい、すごい絶頂、そこまで来てるうううっ！
あぐう、んぐ、んっほほおおう！
そうです！ そうですう！ 私、オス肉チンポが好物の、ド淫乱女神なんですう！
あっはあ！ チンポ好き、セックス好き、中出しファック、だあい好きいいいっ！
んあっはああん、おっ、おっ、おっほおおん！
これスゴイこれスゴイこれスゴイいいいっ！
んほお！ もうイグっ！ 人と神との本気の種付けファック、さいっこうに、気ゝん持ちイゝイゝ いいいいいん！
ん、んお、んほお！ おっ、おっ、おっ、おっおおうっ！
イグううう！ イっグううううう！
私のエロ顔見ながら出してください！
女神の威厳もなにもない、下品なエロメスアクメ顔で、たっぷりドブプリ発射してえええっ！
ンオオおおうっ！ んん、ンオオおおうっ！
百八発目の射精で、勇者のラスト生ザーメンで、女神のドスケベ子宮が、ガ・ン・ギ・マ・リいいいいいいんっ！
イっグう！ イグイグイっグううう！ イゝ いいんつつグうううううおおおん！
ンオゝ おおおっホオおおおおおおうんっ！

ん、はあ。あ、ああ。

はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ。

…ああ、たあっぷり、お精子、くださいましたね。

ああ、うれしい。これで、あなたのお子を生むことができます。

もちろん、子供が生まれるまで、私も人間界にとどまり、あなたと共に…。

まだ、人の身で行ってみたい場所やしてみたいことがたくさんあるのです。

もちろん、もっと気持ちのいいことだって…。

うふふ。これからが本当に楽しみです。

ふつつかな女神ではありますが、どうぞよろしく願ひいたします。旦那様。

～終わり～